

### 北赤井地区の田んぼの学校

東松島市の赤井小学校では、平成15年度から田んぼの学校を開校してきましたが、3年目を迎えた今年も、5年生を対象に実施しました。

5月25日に田植えを行い、小学校前の水田約10アールに、餅米の苗の手植えを実施しました。

秋には、手狩りによる稲刈りを10月7日に、千羽こきや足踏み脱穀機による脱穀作業を11月1日に行いました。11月11日の収穫祭では、同日開催された持久走大会の後、収穫したもち米を使って餅つきを行い、全校生徒や父兄らと収穫の喜びを分かち合いました。

北赤井地区地域活動づくり推進委員会のみなさんが主体となり、企画から指導までを行いました。

担当：計画調整班

めだか のすめる たんぼ づくりをめざして

### 宮城県石巻地方振興事務所 農業農村整備部

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

Tel 0225(95)1411 (内)473

Fax 0225(96)4880

E-mail iss-s-kt@pref.miyagi.jp

URL http://www.pref.miyagi.jp/issgsin/nn

編集・発行 (創刊平成15年2月)  
宮城県石巻地方振興事務所 農業農村整備部  
計画調整班 農村活性化担当



田植えの様子



収穫祭



刈り取り後のはせ掛け



千歯こきで脱穀

### 石巻農業農村整備部のホームページ 知っていますか？

農業農村整備部のページでは、石巻管内の農業農村整備事業に関する最新情報や事業概要、ほ場整備に関する内容や「ふるさと学習講座」、「田んぼの生きもの調査」の情報などを掲載しています。また、NN通信のバックナンバーも掲載しています。

アクセスは石巻地方振興事務所ホームページ(<http://www.pref.miyagi.jp/issgsin/>)から「農業農村整備部」をクリックしてください。

担当：計画調整班



# Nougyou Nouson いしのまきNN通信



上品山山頂より望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻管内の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら計画調整班までご一報ください。今後ともよろしくお願ひします。

## 担い手育成基盤整備事業の完了について ～ 沢田地区・桃生町7期地区 ～

担い手育成基盤整備事業は、地域の水田農業が今後とも永続的に続けられるよう、ほ場を大区画にし、農地の連担化・団地化を図るとともに、様々な課題を解決するための事業です。平成16年度に完了した下記2地区は、基盤整備を契機とし、担い手への農地利用集積を進めるとともに、米・麦・大豆のブロックローテーション転作を実現するなど農業構造の改善等を図っています。



第8号の目次:

担い手育成基盤整備事業の完了について	1
「ふるさと学習講座 inかなん」の開催	2
道の駅「上品の郷」農産物直売所の活動	3
舟形アグリ生産組合が東北農政局長表彰受賞	3
北赤井地区の田んぼの学校について	4

### 沢田地区

受益面積：59.1ha、事業費：984百万円、工期：平成10年～16年度

沢田地区では平成16年度、担い手への農地利用集積率66.7%（県内9位）、集積増加率209.8%（県内5位）、連担化率54.6%（県内6位）と、県内トップレベルの成果を上げています。

担当：農村整備班

### 桃生町7期地区

受益面積：255.2ha、事業費：3,042百万円、工期：平成8年～16年度

桃生町7期地区では、事業を契機に担い手育成が図られ（2法人・1組織・個別17戸）、平成16年度には集積率が60.7%（県内16位）となり、順調に担い手へ農地の利用集積が進んでいます。

担当：農地整備第2班



沢田地区



桃生町7期地区

## 「ふるさと学習講座inかなん」を開催！

地域の子供達に田んぼの役割や農業に関する知識を深めてもらうことを目的に、去る8月27日(土)、石巻市須江地内で、地域の小学生11名とその父母等総勢25名の参加のもと、「ふるさと学習講座inかなん」を開催しました。石巻地方振興事務所が主催し、下記の2部構成で実施しました。

### 地域産業の学習講座

須江定住センター内で、農業や田んぼの役割などについて学習しました。

内容  
「河南4期地区農村活性化ビジョンについて」 石巻市河南総合支所  
「土地改良区の役割について」 河南矢本土地改良区  
「田んぼと生き物について」 農業改良普及センター  
「宮城の淡水魚について」 内水面水産試験場  
子供達には少し難しい話もありましたが、写真をたくさん使った魚のお話には、目を輝かせ、興味津々で聞き入っていました。  
田んぼでの生き物調査の前の予習として田んぼにはどんな魚が住んでいるのか勉強しました。



室内講義の様子

### 田んぼの生きもの調査

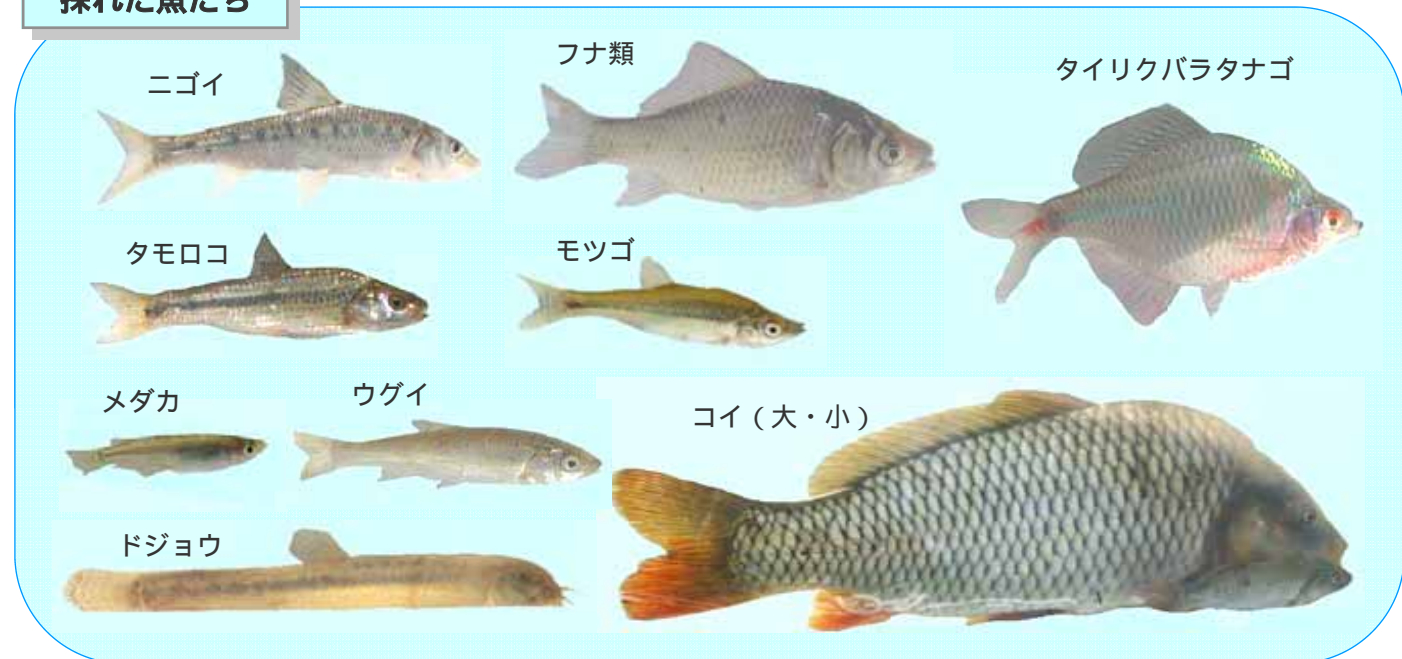
子供達を2班に分け、田んぼの水路に棲む魚類の調査を行いました。調査の結果、下記のとおり魚類9種が確認されました。絶滅危惧種であるメダカが沢山生息していることも確認され、この地域では豊かな自然環境が保たれていることがわかりました。子供達は色のきれいなタイリクバラタナゴや大きなコイに驚きつつ、魚の写真付き下敷きと見比べながら、魚の名前を覚え、田んぼにたくさんの魚がいることを勉強していました。



生きもの調査の様子

担当：計画調整班

### 採れた魚たち



## 基盤整備を契機としたアグリビジネスの展開について

### 道の駅「上品の郷」 農産物直売所の成功を目指して！

今年の3月25日、三陸自動車道河北ICの近くに道の駅「上品の郷」がオープンしました。石巻市河北総合支所では、その目玉となる農産物直売所の成功を目指して、昨年度から県総合補助金の「アグリビジネス創造型生産基盤整備支援事業」に取り組んできました。

今年度は、加美町土産センターへの視察研修、適正表示研修会、冬野菜確保に向けた試験栽培の実施や、今後の直売所運営の参考とするためのアンケート調査を実施するなど、より良い直売所の運営を行うために積極的な活動を展開しています。

直売所は3月下旬のオープンから11月で約8ヶ月が経過しましたが、連日盛況で既に2億円近く(11月現在)を売り上げています。

今後も、基盤整備を契機としたアグリビジネスの展開による農家収入の拡大を目指し、販売体制の整備や販売戦略の検討を進めます。

担当：計画調整班



道の駅「上品の郷」



直売所

### 「舟形アグリ生産組合」が平成17年度東北農政局長表彰を受賞

去る11月16日、仙台市内で平成17年度東北農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰の表彰式が行われ、受益農家集団の部において石巻市小船越の舟形アグリ生産組合が東北農政局長賞を受賞しました。

舟形アグリ生産組合は、県営ほ場整備事業大谷地地区の担い手として平成10年に結成され活動を続けてきました。現在は、集落内の農地の約68%を集積し連担団地化を進め、水稲、麦、大豆による2年3作体系のブロックローテーションを実施しています。

今回の受賞は、農地の高度利用や栽培に関する取組みのほか、小麦と大豆を単なる転作作物としてではなく地域の特産品にすべく、加工や販売等の経営面においても努力している点や、地域に対する貢献が高く評価されたものです。舟形アグリ生産組合が生産した大豆を使用した豆腐や納豆、同じく小麦を使用したうどん等の麺製品やパン、菓子は道の駅「上品の郷」のほか石巻市内の農産物直売所等で購入できます。

担当：計画調整班



表彰式の様子